



Koichiro Tsuji

辻 紘一郎

株式会社ツーセル
代表取締役社長

【会社所在地】〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター11階

【事業紹介】再生医療の産業化を目指し、体性幹細胞の一種である、間葉系幹細胞(MSC)をターゲットとし、MSC周辺の培養技術や再生医療システムの構築に取り組んでいます。



ツーセル

【PROFILE】

1941年生まれ
1964年 信州大学農学部 卒業
1964年 中外製薬株式会社 入社
1985年 農学博士(東京大学) 取得
2001年 定年退職(開発研究所実験動物センター長・
開発研究所安全性センター長・メディカル事業部 部長に從事)
2001年 科学技術振興機構(JST)プレ・ベンチャー事業
「骨・軟骨の再生療法チーム」サプリーダーとなる
2003年 株式会社ツーセル 起業、代表取締役社長に就任

【創業年】 2003年

2007年 日本実験動物学会学会賞(功労賞)

【座右の銘】 自然流(じねんりゅう)でいこう。
「力まず」「はしやがず」「嘆かず」「腐らず」「おごらず」

再生医療の常識を 何回も何回も越える

辻 紘一郎は、1964年に中外製薬株式会社に入社し、新薬の研究開発・商品化・事業化に携わって参りました。この間常々考えていたのは、薬以外の「根治療法はないのか?」ということでした。そんな時に出会ったのが、細胞を用いる再生医療です。その可能性に興奮し、何時かは会社を興して、病気で苦しむ人々を再生医療で救おうと考えるようになりました。

会社の特徴

再生医療を通じて世界の医療や人々の健康に貢献する、 21世紀のグローバル企業

幹細胞による再生医療の「抗病戦略Disease Management」を中心とし、「骨・軟骨」と「心筋・血管」と「神経・脳」を重点領域として、間葉系幹細胞(MSC: Mesenchymal Stem Cell)の「研究Research」「開発Development」から「上市・市場浸透Marketing」に至る流れを一元的に捉える「R・D・M一貫体制」を持つ「価値創造会社」を目指しています。



▲発売中の無血清培地「STK®シリーズ」

事業・サービスの強み

ゲノム創薬時代の到来の中、 大学・大手製薬企業の協力を得て再生医療の産業化を目指す

再生医療事業において、無血清培地の供給が重要であることをいち早く認識し、MSC用無血清培地「STK®シリーズ」を開発、2008年より順次発売しました。また、これらの無血清培地と、大阪大学、広島大学などの長年の共同研究で築き上げた信頼と技術を用いて、世界初の同種(他家)滑膜由来MSCの膝軟骨再生細胞治療製品「gMSC®1」を開発し、再生医療の産業化を目指しています。



▲細胞培養室の様子